

講座 ころの友伝道入門シリーズ12

五つの実際 その四

「ころの友伝道奉仕者の活動内容」



日本キリスト教団
小松川教会(東京)
きたのせつお
信徒 **北野節男**

「御言葉を宣べ伝えなさい。

折りが良くても悪くても励みなさい」

(テモテⅡ4:2)

- 1 私たちの教会では、毎月第一主日礼拝後、会堂の横にある集会室にて委員会を行います。新型コロナウイルス感染防止のため短時間開催ですが、メンバーにとってころの友伝道の働きは「折りが悪くても励みなさい」との主のご愛の励ましを共にいただける幸いな時です。

開会祈祷後、文書伝道の発送作業を行います。新来会者で文書伝道を希望された方々に、筆で書かれた御言葉と手紙、日本キリスト教団出版局発行の月刊伝道新聞「ころの友」を同封します。



手書きの封筒の宛名を読み上げて、メンバーが祈りを合わせます。喜びや感謝のお手紙もいただきますが、「もう送らないで結構!!」と言われることもあります。そんな時は落ち込みますが、「折りが悪くても」と励ましをくださる主を見上げ、その方の救いのために祈りを重ねています。

- 2 メンバーから、担当している方々の近況報告と祈りの要請が行われます。コロナ禍のため、直接お会いすることが困難な中、メール、ラインは本当にありがたいです。一方、メール等が利用できない高齢の方への連絡も課題です。
- 3 前月1カ月間の新来会者の報告を担当者から受け、毎月の文書伝道発送者リストに加えるかどうか、牧師と相談、指導をいただき、検討します。